

経済動向調査のまとめ

平成29年5月30日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

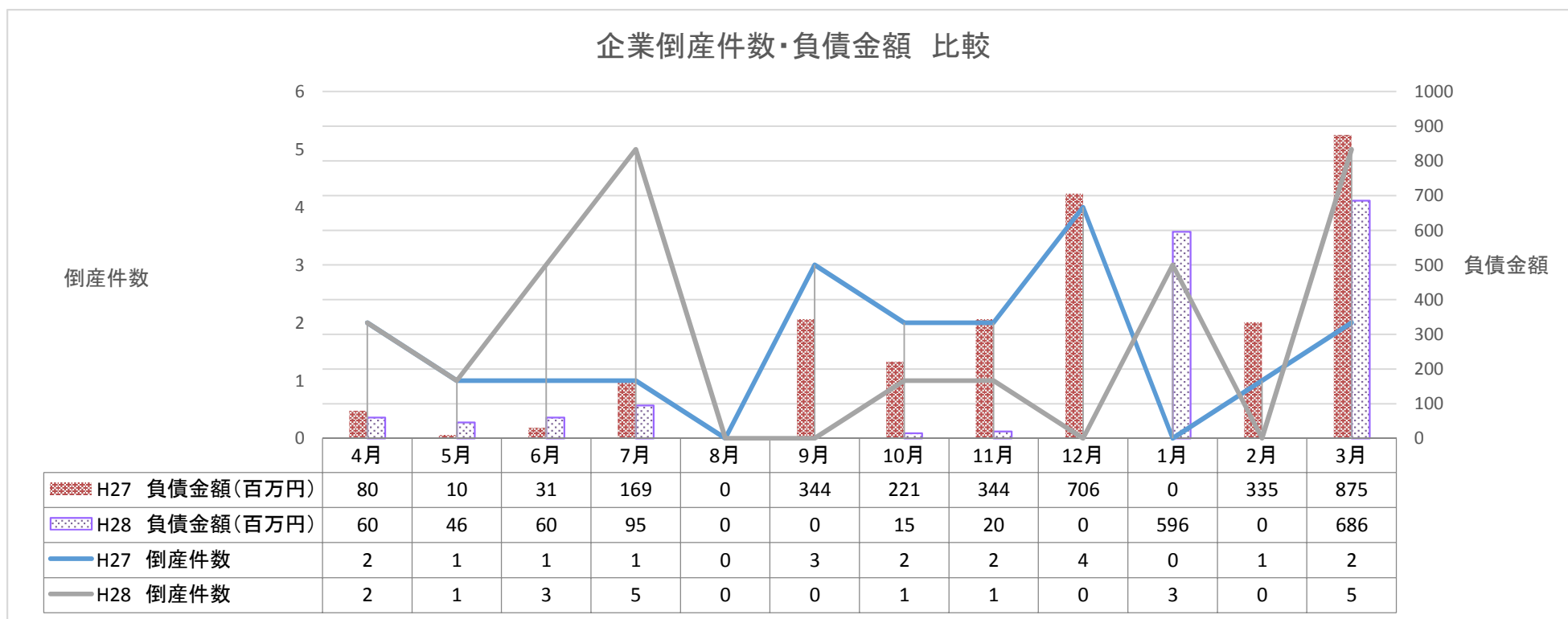
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	H29.3月
全国小規模事業者月次動向調査	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	H29.3月
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	H29.3月
にしん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 102社	H29.3月

佐用町商工会

1. 倒産企業件数



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

平成29年3月期の倒産件数は、5件（前年同月 2件）

平成28年4月～平成29年3月の期間では、23件（前年同期間 19件）負債額 24億5300万円（前年同期間 23億7000万円）

※県下の状況は、平成29年3月期の倒産件数は33件（前年同期は39件）。

なお、県下の3月の負債総額は、49億31百万円（対前年同月比46%増）となっている。（前年同月33億77百万円）

2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の2月の有効求職者数は、3,379人（前月から36人増）で対前年同月比5.2%の減となっている。

有効求人数は3,795人（前月から175人増）で対前年同月比1.0%増となっている。

また、有効求人倍率は1.12倍で対前年同月比0.04ポイント上昇している。

なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.22倍で対前年同月比で0.16ポイント上昇した。



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。

これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。

たとえば、仕事の案件が100個あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。

逆に、「うちで仕事をしませんか？」という求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかいない場合、有効求人倍率は「2」になります。

DI値とは-----

例えば、売上額DIの場合、経営者等に売上状況を、(1)良い(2)やや良い(3)普通(4)やや悪い(5)悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1)良い 10% (2)やや良い 15% (3)普通 35% (4)やや悪い 15% (5)悪い 25%だったとすると

$$[(1)10\% + (2)15\%] - [(4)15\% + (5)25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\% \text{ --- DI値}$$

DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

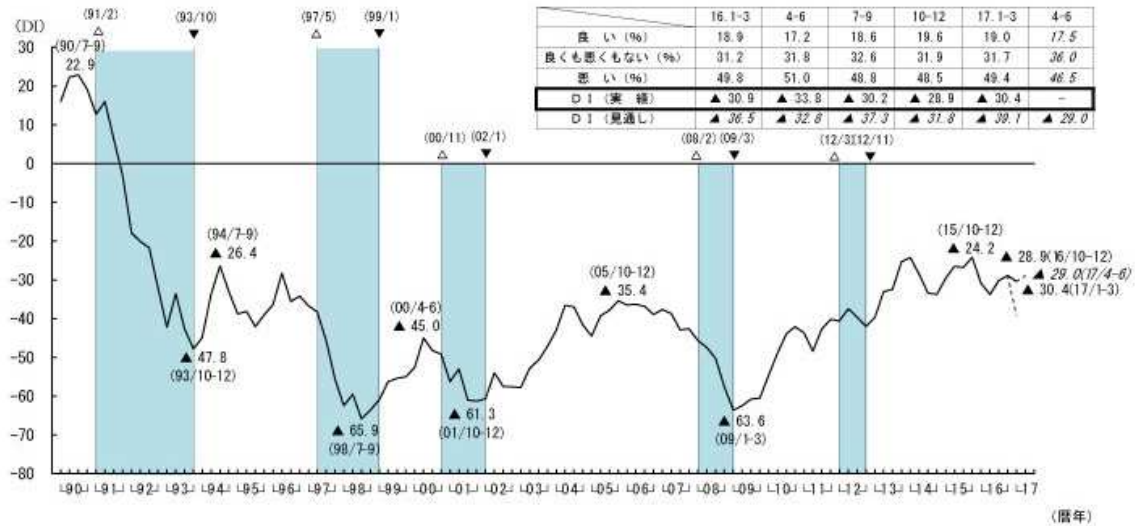
ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

3. 業況

1 業況判断

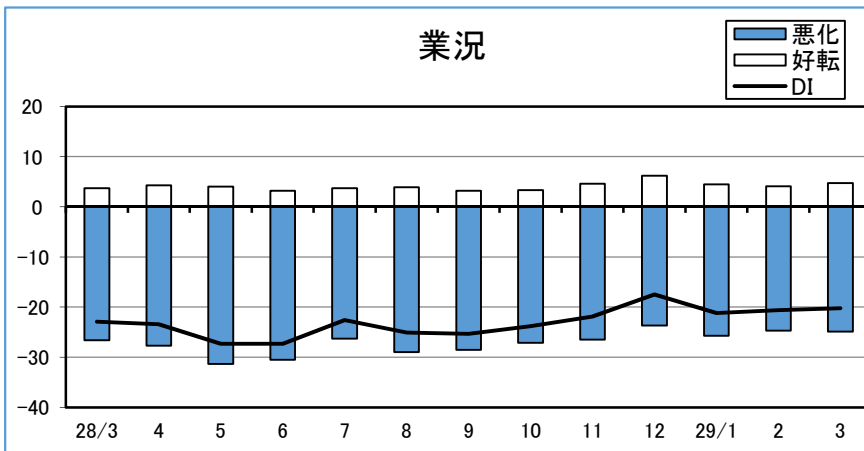
- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2016年10-12月期）に比べてマイナス幅が1.5ポイント拡大し、▲30.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小し、▲29.0となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

業況



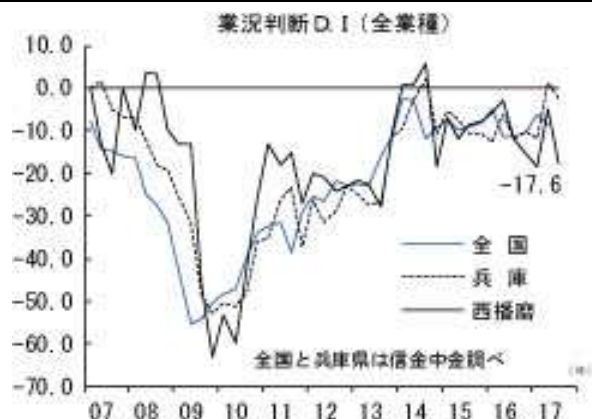
年/月	好転	悪化	DI
28/3	3.7	-26.6	-22.9
4	4.3	-27.7	-23.4
5	4.0	-31.3	-27.3
6	3.2	-30.5	-27.3
7	3.7	-26.3	-22.6
8	3.9	-29.0	-25.1
9	3.2	-28.5	-25.3
10	3.3	-27.1	-23.8
11	4.6	-26.5	-21.9
12	6.2	-23.7	-17.5
29/1	4.5	-25.7	-21.2
2	4.1	-24.7	-20.6
3	4.7	-24.9	-20.2

3月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変であった。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—景況感は再び下降に転じる—

平成29年1~3月期(今期)の業況判断DIは、▲17.6と、前期比12.7ポイント低下し再び下降に転じた。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合増が加したものの、それ以上に業況が「悪い」と回答した企業の割合増が加したため低下した。



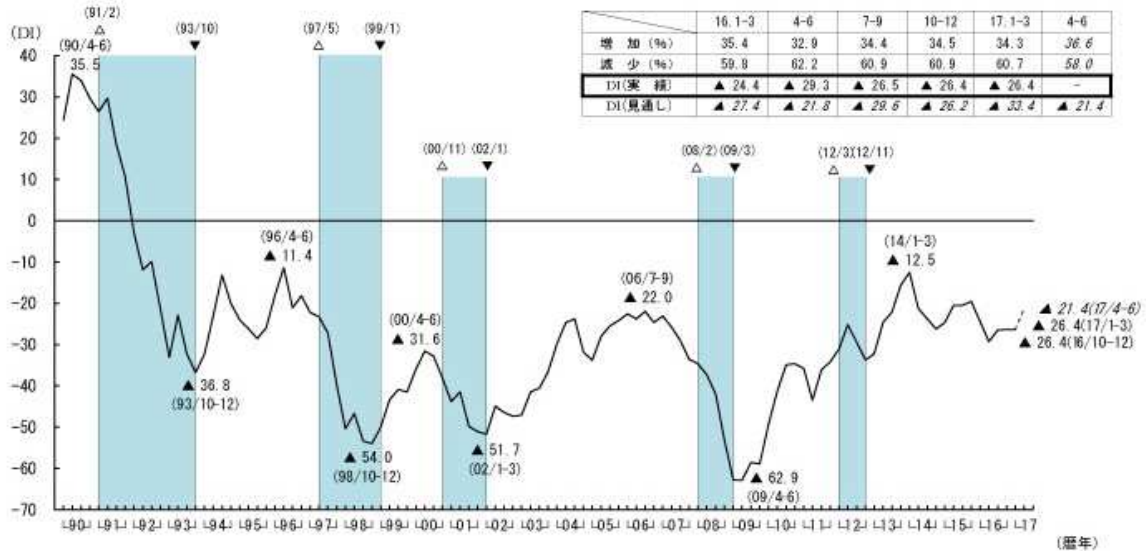
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

4. 売上

2 売上

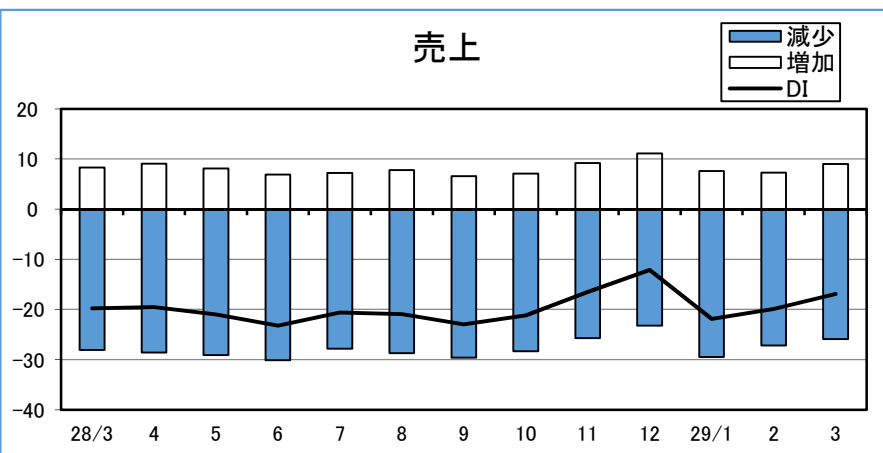
- 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査から横ばいの▲26.4となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
28/3	8.3	-28.1	-19.8
4	9.1	-28.6	-19.5
5	8.1	-29.1	-21.0
6	6.9	-30.1	-23.2
7	7.2	-27.8	-20.6
8	7.8	-28.7	-20.9
9	6.6	-29.6	-23.0
10	7.1	-28.3	-21.2
11	9.2	-25.7	-16.5
12	11.1	-23.2	-12.1
29/1	7.6	-29.5	-21.9
2	7.3	-27.2	-19.9
3	9.0	-25.9	-16.9

3月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は不変であった。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

収益面では、前年同期比の売上額判断DIが、△11.8と前期比1.0ポイント低下、同収益判断DIは、△13.7と前期比4.9ポイント低下した。

— 販売価格は下降へ転じ、仕入価格は上昇が強まる —

平成29年1~3月期(今期)の販売価格判断DIは、前期に比べ価格「上昇」と回答した企業の割合が増加する以上に価格「下降」と回答した企業の割合が増加したため、前期比2.9ポイント低下し△2.9となった。

仕入価格判断DIは、前期に比べ価格「上昇」と回答した企業の割合が増加する一方で、価格「下降」と回答した企業の割合が減少したため、前期比10.7ポイント低下し17.6となった。

グラフ無し

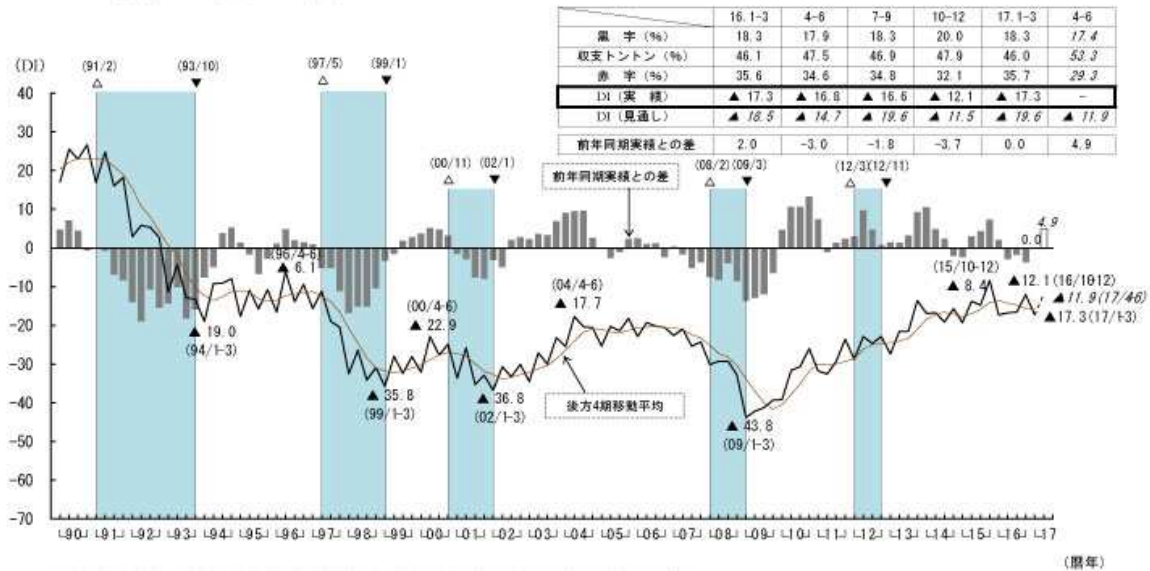
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

5. 採算

3 採算

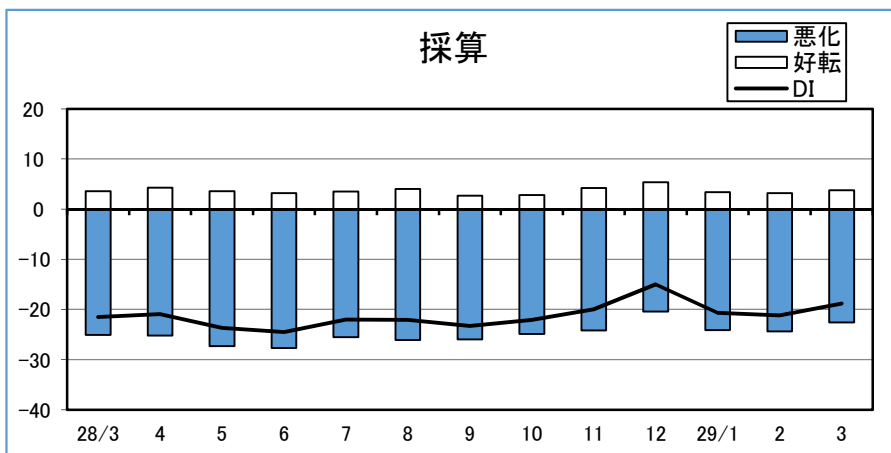
- 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が5.2ポイント拡大し、▲17.3となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
28/3	3.6	-25.1	-21.5
4	4.3	-25.2	-20.9
5	3.6	-27.3	-23.7
6	3.2	-27.7	-24.5
7	3.5	-25.5	-22.0
8	4.0	-26.1	-22.1
9	2.7	-26.0	-23.3
10	2.8	-24.9	-22.1
11	4.2	-24.2	-20.0
12	5.4	-20.4	-15.0
29/1	3.4	-24.1	-20.7
2	3.2	-24.4	-21.2
3	3.8	-22.6	-18.8

採算DIは、わずかな改善がある。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

収益判断DIは、△13.7と前期比4.9ポイント低下した。

グラフ無し

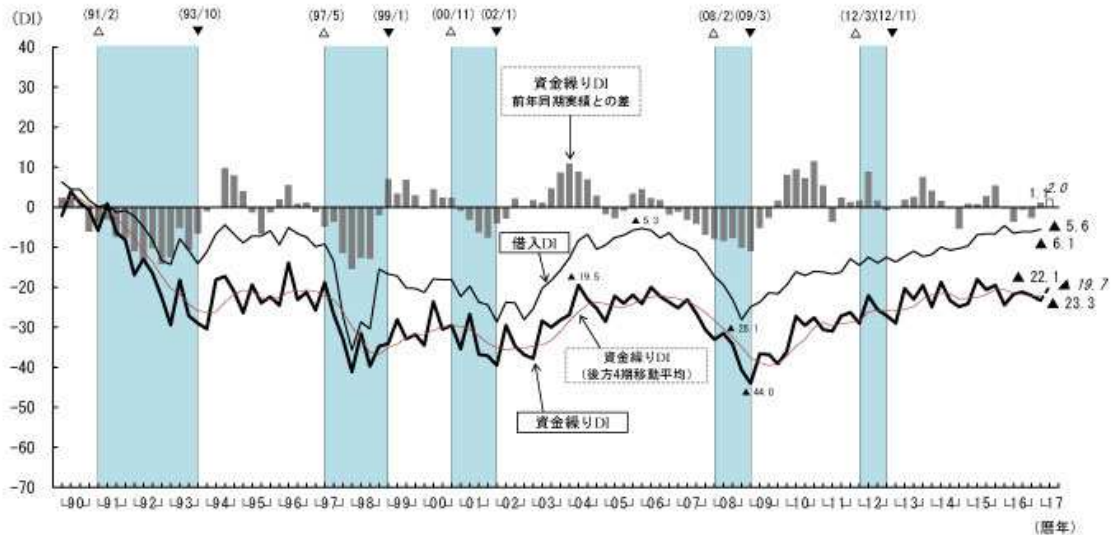
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

6. 採算

4 資金繰り、借入

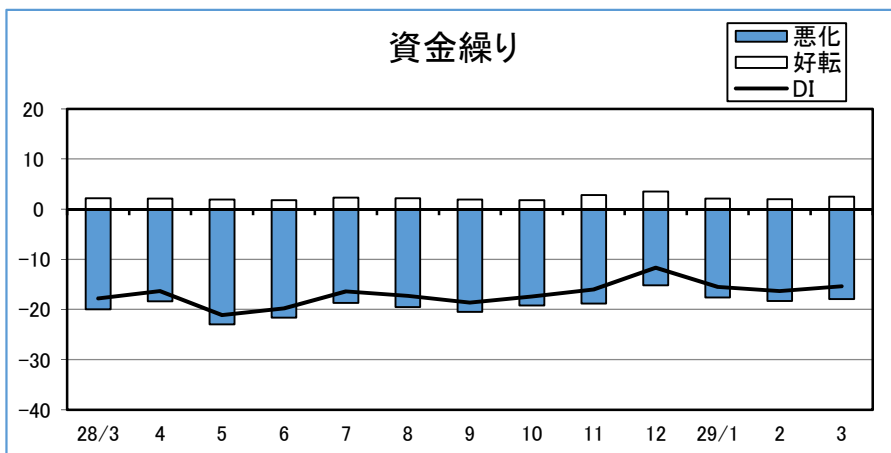
- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査に比べてマイナス幅が1.2ポイント拡大し、▲23.3となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査に比べてマイナス幅が0.5ポイント縮小し、▲5.6となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



年/月	好転	悪化	DI
28/3	2.2	-20.0	-17.8
4	2.1	-18.4	-16.3
5	1.9	-23.0	-21.1
6	1.8	-21.6	-19.8
7	2.3	-18.7	-16.4
8	2.2	-19.5	-17.3
9	1.9	-20.5	-18.6
10	1.8	-19.2	-17.4
11	2.8	-18.8	-16.0
12	3.5	-15.2	-11.7
29/1	2.1	-17.6	-15.5
2	2.0	-18.3	-16.3
3	2.5	-17.9	-15.4

資金繰りDIは、わずかながら改善にとどまっている。

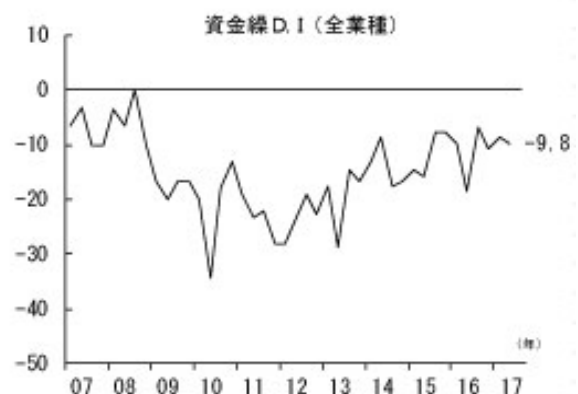
【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—資金繰り判断DIは低下—

平成29年1～3月期（今期）の資金繰り判断DIは、△9.8と、前期比1.0ポイント低下した。

業種別では、前期比、製造業が3.1ポイント、卸売業が9.1ポイントそれぞれ改善し、小売業が5.9ポイント、建設業が11.1ポイントそれぞれ低下した。

サービス業と不動産業は横ばいとなった。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート